

大会参加における諸注意

- 1 良いゲームが展開されるよう、定刻で試合が開始できるよう、みんなで大会に協力する。
- 2 下履きは玄関でビニール袋に入れてから、入場する。（ビニール袋は個人で用意）
下履きをそのまま持って、館内を移動しない。
- 3 チームベンチで水分を補給する際は、スクイズボトル・水筒を使用する。
※ 床を濡らした際は、チームで用意した雑巾を使ってきれいに拭く。
（冷えたスクイズボトルは、結露が発生して床を濡らすことがあるので注意する。）
モップでは絶対に拭かないこと。ペットボトルは使用禁止（選手・コーチすべて）。
水の入ったバケツ、水雑巾もフロアーには持ち込まない。
- 4 ゲーム終了後は、速やかにベンチを空ける。また、T O割当の場合は遅れない。
（指導者は、まず選手をベンチエリアから出して次のゲーム関係者の邪魔にならない所で話をする。）
- 5 応援について
ベンチ内での道具を使った応援はルール上禁止されている。
ベンチでのうちわの持ち込みは、応援に使わないという条件で認める。
ベンチでの応援で、フロアーを踏み鳴らすような行為は禁止する。
応援席での道具を使った応援はできる。（ペットボトル等で手すりを叩くことは禁止）
フェアプレーの精神からはずれた応援は慎む。
＊競技規則の精神「観客は規則のよき理解者として、よいプレーを勇気づけるのが役目である。」
具体的には、次のような応援、行為は禁止する。
 ＊相手を野次るような応援 ＊相手のファウルやミスを嘲笑するような応援
 ＊フリースロー時にわざと視界を邪魔したり、声を発する行為
 ＊他にもフェアプレー精神からはずれた応援
- 6 応援幕について
応援幕は、チームのベンチエリアに近い場所に設置する。
設置する時間帯は、ゲーム開始直前からゲーム終了時までとする。
設置する際、ガムテープの使用は禁止。
- 7 選手がベンチでユニフォームに着替える行為はマナーとして行わない。
- 8 ベンチ入りできるのはスコアシートに記載された選手・コーチのみ。
ベンチ入りしていない選手はクォーター間、ハーフタイムにおいてもフロアに下りたり、ベンチに入ったりすることはできない。

9 ベンチマナーについて

「クリーンバスケット、クリーンゲーム」の則り、ベンチにおいて指導者、選手に関わらず健全な行動をする。相手チームへのヤジや**審判の判定に関して異議を唱えることは許されない**。(特に指導者が審判に対して度々失礼な態度で接したり、話しかけることはテクニカル・ファールの対象になるとともに、選手にも良い影響を与えない。)

もし、説明を求める場合は、競技規則に載っている通りに行う。気持ちの良いゲームにするためにプレーヤー、指導者、審判の協力が必要。

いかなる理由があっても、保護者から審判に対する異論行為、問い合わせは認められない。

10 フロアー内の扱いについて

フロアー内の座席は大会役員および大会関係者専用。保護者等はいれない。

また、フロアー内（ベンチエリア以外）でチームや選手に対するコーチングはできない。

11 大会役員およびチームスタッフの服装について

本大会では、**長ズボン着用。ただし、だらしない長ズボンは着用しない**。また、フロア内では必ず体育館シューズを使用する。（フロア内でのスリッパやサンダルは禁止）

試合中コーチはコーチ証を首から下げる。

12 会場設営・撤収

各チーム運営委員で協力して行う。選手については第1試合チームは設営、最終ゲームチームは撤収に協力する。全日程において運営委員は開館時間に集合。試合開始30分前にフロアにて運営委員打ち合わせ。それまでに全運営委員で準備を終わらせる。会場撤収後に最終打ち合わせをして解散。

選手・保護者は各チームが使用した場所の整理整頓、ゴミの持ち帰りを徹底する。

13 各会場使用上の注意

各会場の注意点については代表者会で提案された通りとする。

2階席前2列は試合チームの応援席とする。試合ごとの入れ替え。

保護者が、体育館1階に降りることは禁止とする。

クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム

～暴力暴言根絶～ (JBA)

クリーンバスケット	--- バスケットの価値を高める（オフコートでの在り方）
クリーンゲーム	--- 試合の価値を高める（オンコートでの在り方）
暴力暴言根絶	--- 選手、審判への暴力暴言禁止